

# 滿洲國だより



## 滿洲國水力發電計畫と 松花江の巨大なるダム

滿洲國產業開發計畫の一部たる水力發電建設計畫は國道局長直木倫太郎博士の局長兼任の下に着々計畫調査を進められつつあるが、二月中旬右要務の爲上京せられたる直木博士の談によれば、第一期工事は5ヶ年繼續事業として松花江（吉林を去る10里の地點）に高さ60米、長1000米のコンクリート堰堤を築造して約16萬馬力を發電せんとするものである。水量の豊富なる點は、斯かる巨大なる堰堤を築造するも一馬力當りの建設費は非常に低廉となり、竣工後は1キロ當り約5厘位にて電力を供給し得る豫定との事である。

尙ほ目下松花江の結氷上に於てボーリング施工中にて、来る4月頃には地質調査終り、愈々本格的に東洋第一の大ダムの設計に着手する由である。（寫真は水力發電建設局長を兼ねられる國道局長直木倫太郎博士）

## 國都新京の建設事業

新京は今世界で最もスピーディな變化に富んだ都市の形態を造つてゐる、驚異的な人口の増加、必然

的に沸き起る家屋の拂底とこれに反比例するもうもうの建築熱の旺盛さ等、大江戸から東京への革新的變化を宛然に中央集權的政府の所在地として、また満洲文化發祥の綠地として今や新京は首都的形相を整へる爲に一切環境を擧げて狂奔してゐる、そして郊外の小丘はすり減らされて荒野たる曠野は歩一步近代的國都への姿景を完成してゐる、計畫區型200平方糸、大同元年から康徳四年六月までの第一次五ヶ年計畫區型20平方糸の完成のために昨年迄に官廳側、民間側其他合せて五千萬近い建物が素晴らしい急速度で竣工した、これに道路、水道其他の施設費を加算すれば國都建設に投ぜられた費用は優に一億圓を突破するであらう。

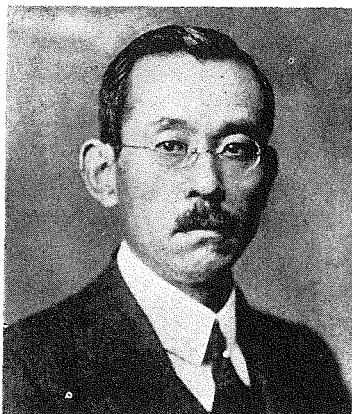
滿洲國側の官廳の中、國務院、文教部、司法部、外交部、國都建設局、財政部、交通部、國道局、蒙政部、大同學院、大陸科學院、衛生技術廠等の近代的な洋風建物は既に荒蕪の一廓に聳立してゐる、その他の官衙の造営も間近に迫つてゐる、古代優雅な殿堂と近代的明朗な大厦高樓が色とりどりの趣向を凝らし綠樹に埋まる大市街の出現する日も遠くはない、13萬の人口から二十年後の50萬へ、五ヶ年計畫の20平方糸から更にその十倍の地域に著々と豫定のコースが辿られてゐる。

國都建設區域境界は新京驛より南方の高台子附近を中心として東に約6.5糸、南に約10.5糸、北に8.5糸、西に7糸の長方多角形の區域で北西端は蘇家營子附近とし、北東端を金錢堡附近とする廣義約200平方糸の地域である。

## 訪日宣詔記念館 入選者發表

滿洲國皇帝陛下が御訪日のち渙發されられた回鑾訓民詔勅の聖旨を崇高に表現する御訪日宣詔記念建造物の設計圖案を懸賞募集したところ總數247通の應募があり去月廿六、七、八日審査委員長今村關東軍參謀副長ほか八審査員が審査の結果、次のごとく入賞者を決定、二月十一日の佳節に發表された、なほ右記念建造物は工費約60萬圓であると

△一等（賞金3000圓）新京特別市東七馬路永康莊内



池田正己氏

△二等（二千圓）麴町區丸之内仲通十三號館三號渡  
邊建築事務所大澤浩氏

△三等二名（一千圓）新京特別市昌平胡同福地憲弘  
氏、新城市建和胡同京城土木アパート内石塚彌雄  
氏。

△選外佳作五名（各二百圓）國務院營繕需品局營繕  
處松本正氏、奉天鐵道總局工務局建築課滿鐵社員  
新井猪一郎氏、淀橋區下落合二ノ六二二白井建築  
事務所内春山新三、杉並區西荻窪一四二永井孝直  
氏、澁谷區代官山アパート二六ノ一九七羽石渡氏

【寫真参照】

### 國都建設記念式典

新興滿洲帝國建設の表徴たる國都新京の建設は前

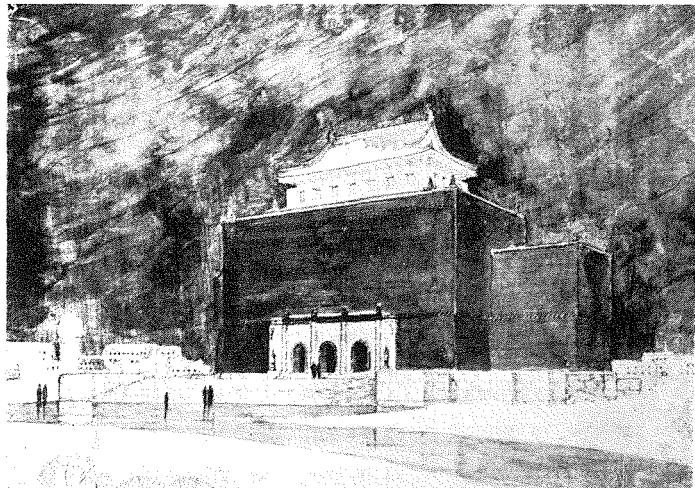
記の如く躍進につぐ躍進——急速度で進捗本年末を以て第一期五ヶ年建設計画を終り一應の完成を告げるので滿洲國政府では今秋を期して盛大なる國都建設記念式典を舉行することとなり、總務廳に式典準備委員會を設け一切の準備を行ふこととなつた。

### 梅通線の假營業開始

奉吉線の梅河口から南間島の通化に至る鐵道は昨年起工以來銳意建設の進捗に努めてゐたが二月一日から梅河口より柳河に至る32.7杆の區間の假營業が開始した、運轉は混合列車一日二往復旅客及貨物を取扱ひ所要時間約一時間半である。

### 訪日宣詔記念 建造物懸賞入選 設計圖案

入選第一等  
池田正己氏案透視圖



同上 池田氏案正面圖。

同入選第二等 大澤氏案透視圖。

